



杉並区立荻窪中学校

学校運営協議会だより

Vol.14 平成29年12月15日 荻窪中学校学校運営協議会発行

『荻中9年目のスタートに向けて』

荻窪中学校学校運営協議会 会長 田中 奈那子

荻窪中学校が学校運営協議会を設置する地域運営学校（一般にCSと呼ばれています）となりましたのが、平成21年度です。

それから8年の歳月が経過しました。8年間の中で、校長先生はじめ教職員の異動もあり、学校運営協議会委員も数名交代いたしました。

そして今年度をもちまして、徳田会長が4期8年の任期を終えられご卒業になりました。長年にわたり地域の為、学校の為にご尽力をいただき、心より感謝申し上げますとともに、今後も荻中のために尽力添えたいと思います。

この度、徳田会長に代わりまして、運営協議会委員の互選により会長職をお断りしきれずお引き受けすることになりました。微力ではございますが、宜しくお願いいたします。

学校に関わる方たちが、代わられる中で、学校の教育活動は継続性と刷新が求められています。CSは保護者代表、学識経験者、

地域住民の代表などの委員で構成されています。こうした委員で構成されているのは、学校に身近な方たちの意見や考え方を学校経営に反映し、学校をより良いものにしていくためにあります。

生徒たちの確かな学力と社会性をしっかり身に付けるように、教育活動を充実したものにし、明るく元気な荻窪中学校にしていきたいと思えます。

今年度、杉並区学校運営協議会規則の一部が改正され、4年の指定期間が廃止されました。そして、今回の改正に伴い、CS委員の全員の任期を10月1日付けに揃えて、スタートすることになり、新しい委員さん6名加わり11名の委員さんで活動して参ります。

荻窪中学校は創立70周年を迎えます。伊藤校長先生と協力し合い、荻窪中学校の更なる発展と生徒の健やかな育成を願い地道に取り組んで行きたいと思っております。今後ともご協力とご支援をよろしく願っています。

『新会長の下、新CSのスタート』

荻窪中学校 校長 伊藤 陽一郎

平成29年4月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、同年9月、「杉並区学校運営協議会規則」も改正が行われ、以下の点が変更になりました。

- 1 CSの設置をより一層推進するため、CS設置が努力義務となった。
- 2 CSの指定期間が廃止となり、4年毎の再指定手続きが不要となった。
- 3 二つ以上の学校で一つの協議会とすることが可能となった。
- 4 CS委員として「地域学校協働活動推進員」が対象に追加された。
- 5 校長がCS委員の任命に関して教育委員会に申し出ができるようになった。
- 6 協議事項に「学校運営に必要な支援について」が加わった。

簡単に言うと、「積極的にCS設置をしてください。ずっと継続できますよ。」「小中一貫教育校は、連携小学校とCSを一つにできますよ。」「学校運営に必要な支援の協議もしてください。」ということです。荻中CSにとってはありがたいことばかりで、増々活性化し 拍車がかかることとなります。3つの部会組織の運営もやりやすくなるため、荻中の教育活動に、更に厚みが増していくことと思えます。

10月より、田中新会長、清水新職務代理を中心に、木山新委員を加えた総勢12名の荻中CS、今後も皆さまの厚い信頼を集めて充実発展していくよう、頑張って活動してまいります。どうぞよろしく願っています。

新委員の紹介

10月より新たに学校運営協議会委員になりました木山安芸子と申します。今年度から高校生となった息子が荻窪中学校在学時には、PTA役員をしておりました。わたくし自身も荻窪中学校の卒業生であり、学校近隣に代々居住してきた者として、学校運営協議会委員に参加させていただけることを嬉しく思っております。

学校運営協議会につきましては1年生で頼りない面が多々ありますが、先輩委員の方々からたくさん学び、また、これまでに培ってきた経験が多少なりとも荻窪中学校発展のお役に立てるようにと努力する所存です。どうぞよろしく願っています。

木山 安芸子



活動報告

荻中生との懇談会 11月29日(水)16時～ 会議室

「親・地域との望ましい関わり方、 学校生活上の課題や意見」

1 親子のコミュニケーション

- 日常の何気ない会話でコミュニケーションは取れていると思う。
- 特に会話が減ったとは思わないが、自分の部屋にいるとわざわざ話には行かない。
- 父親とは仕事や部活などすれ違うことが多いが、進路など大切なことは話している。
- 友達関係や友達との比較、プライベートには口を出さないで欲しいし、部屋にはノックして入るなど気を使って欲しい。

2 反抗期

- 反抗期は「ない」「ちょっとある」「真っ盛り」など人によって違いがある。
- 反抗期は女子より男子の方が意識は低い。
- 親子で意見の違いがあっても、言い負かされると思うときや無駄だと思うときは言わない。
- 反抗期が終わって、以前より仲良くなった。

3 地域とのコミュニケーション

- 中学生になってから地域の行事には参加しなくなったこともあるが、逆に「ハロー西荻」などのイベントに参加して地域が身近になった。
- 生まれた時から住んでいるか、いないかにも違いはあるが、近所の人に会えば挨拶しても、あまり関わりがない。
- 防災訓練などのイベントに参加できれば、色々な人と知り合って安全でもあると思う。

4 17時間プログラム

- SNS・スマホなど自分ルールや家庭のルールを作っていて、知らないグループに入ったり、トラブルになるような人とは繋がらないように注意している。

5 要望

※杉並区と交渉できるものはやっていきます。

- トイレ : 臭い。(特に4階がひどい) 男子トイレにパーテーションを付けて。
- 体育館 : 暑い。川側のギャラリーに虫。川が臭い。更衣室が汚い、寒い、暑い、狭い、プールの時はぐしょぐしょ。
- 校庭の照明 : 位置が低くて眩しい、道路側が暗いので校舎側より道路側に欲しかった。
- 教室 : 掃除用具入れがへこんでいて開きにくい。戸のゴムがはずれている。

お疲れさまでした

『退任にあたって』 徳田 達介

荻窪中学校が「地域運営学校」に指定され『学校運営協議会』(CS)が設置されてから10年が経ちました。地域の皆様、校長先生を初めとする教職員、学校関係者、PTA、卒業生の皆様に支えられた10年間でした。この度、退任することになりました。

皆様のご協力、ご支援があったの10年間でした。有難うございました。

新任の委員の方々にも、私に關りました以上のご支援、ご協力をお願い申し上げ退任のご挨拶いたします。